

シグマ研究委員会 核構造・崩壊データ専門部会  
核構造 W.G. サブグループ会合議事録

日時 : 1978. 11. 9 (木) 13:30 ~ 17:30

場所 : 東京本部

出席者 : 橋爪, 天道(理研), 喜多尾(放医研), 神戸(東工大), 田村(原研)

配布資料 : A = 127 の文献

議題 :

1. A = 121 の ENSDF データは ORNL へ送った。受領の回答があり、レフェリーがはじめられている。review の結果は間もなく通知される予定である。
2. A = 127 の評価作業
  - i)  $^{127}\text{Cd}$   
データは一切ない。
  - ii)  $^{127}\text{In}$   
77ALZL があるのみで、これを採用することになるが、Alklet. へ承認を求める必要がある。
  - iii)  $^{127}\text{Ba}$   
13分と18分の2つの状態が報告されているが、この上下関係はわかっていない。77GI 05では in-beam  $\gamma$ 線スペクトロスコピーを行っているが、 $\gamma$ 線エネルギーと強度の誤差の記述が十分でない。
  - iv)  $^{127}\text{La}$   
In-beam  $\gamma$ 線スペクトロスコピーで3つのデータがある。これらはすべて  $^{11/2}$  - のバンドに関するものである。このベース状態についても報告はない。
  - v)  $^{127}\text{Ce}$   
Dubna のレポートが1件あるのみで、 $E_{\gamma} = 58.4 \text{ keV}$  と半減期についての

報告があるのみである。

vi)  $^{127}\text{Sb}$

ENSDF-788 に含まれているよりも新らしいデータは一切ない。したがってこれをベースとして改訂を加えてゆく。ENSDFは $^{127}\text{Sn}$   $\beta^-$  崩壊の最終レポート74 AP 01によるものでないので，“?”マーク，同時計数マーク， $\gamma$ 線エネルギーのいくつかが違っている。

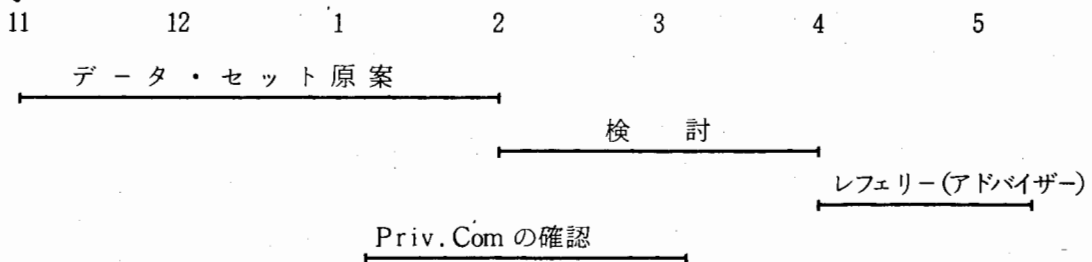
vii)  $^{127}\text{Te}$

$^{127}\text{Te}$ でも ENSDF 788 よりも新らしいデータはない。 $^{127}\text{Sb}$   $\beta^-$  崩壊では原研で新しい実験が行われつつあるので，もし間に合えばこれを含める。

3. ENSDF からのデータ検索

ENSDF-788 から  $^{127}\text{Sb}$ ， $^{127}\text{Te}$  などのデータセットを検索し，これをカードで出力する方法を考える。

4. タイム・スケジュール



5. 次 回

日 時：1978. 12. 20~21

場 所：東海研